

都市再生整備計画 事後評価シート

第2期見附地区
(都市再構築戦略事業)

平成30年3月

新潟県 見附市

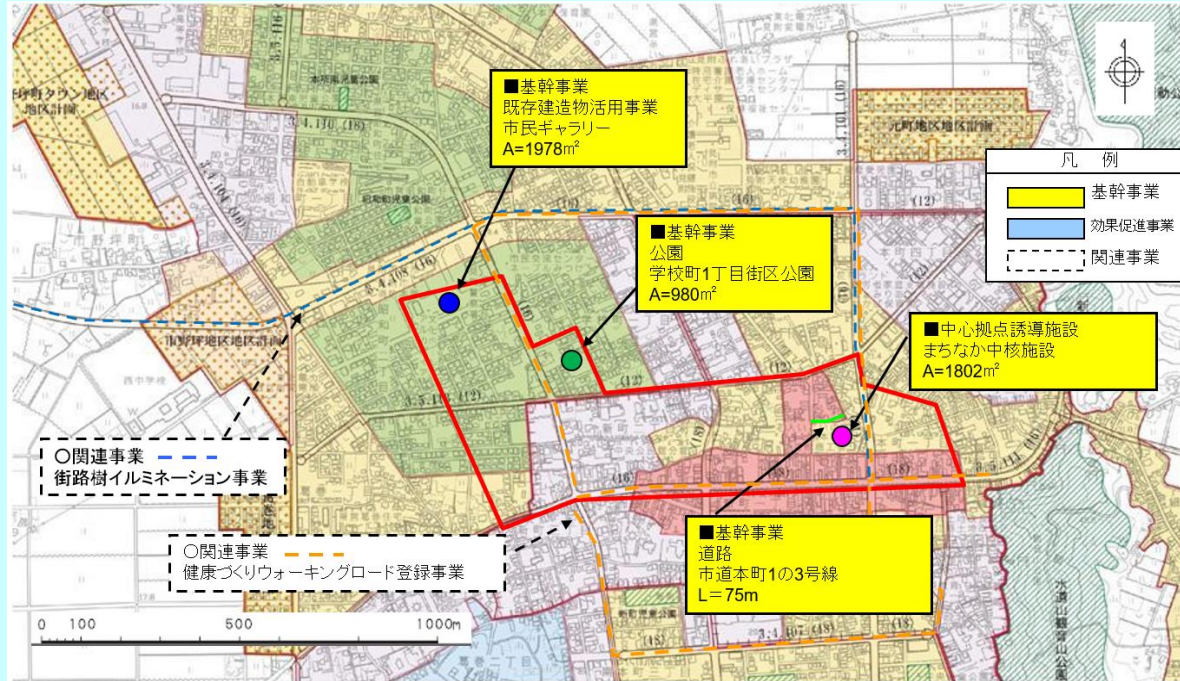
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	見附市		地区名	第2期見附地区(都市再構築戦略事業)			面積	36.5ha	
交付期間	平成24~28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	1,495.1百万円	国費率	0.5			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	既存建造物活用事業(市民ギャラリー)、中心拠点誘導施設(まちなか中核施設)									
		提案事業										
	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業										
		提案事業										
新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道本町1の3号線)、公園(学校町1丁目街区公園)				道路(まちなか中核施設への安全で円滑な交通アクセスを確保するため追加)、公園(近隣住民や来街者の憩いの場を整備するため追加)			指標2「市民アンケートの満足度」において抽出する項目に「公園や緑地、広場などの整備状況」「観光・レクリエーション施設の整備状況」を追加			
	提案事業											
交付期間の変更	当初	平成24~26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
	変更	平成24~28年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
	指標1	交流施設利用者数	人/年	601,320	H23	750,000	H28		795,931	○	あり なし	各施設の整備により、まちなかの魅力が向上し、交流施設の利用者数の増につながった。
指標2	市民アンケートの満足度	%	55.0	H24	57.0	H28		56.7	△	あり なし ●	各施設の整備により、まちなかの魅力が向上し、市民アンケートの満足度が上げることができた。	H31.6月末
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
	その他の数値指標1	コミュニティバスの利用者数	人/年	87,520	H23				148,094			各施設の整備により、まちなかの魅力が向上し、コミュニティバスを利用してまちへ訪れる人が増加した。
4)定性的な効果発現状況	・まちなか中核施設周辺で、7店の新規出店(H27~H29年度)があり、空き店舗対策に効果を発現している。											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	・まちなか賑わい検討委員会 ・まちなか賑わいづくりワークショップ ・市民ギャラリー懇談会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちなか中核施設と市民ギャラリーのオープン後の運営については、定管理者と市民の主体的な活動となるが、市は必要に応じて連携しサポートする。			
	持続的なまちづくり体制の構築	・まちなか賑わいづくり懇談会 ・市民ギャラリー運営協議会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 市民ギャラリーのオープン後の運営については、指定管理者と定管理者と市民の主体的な活動となるが、市は必要に応じて連携しサポートする。			

様式2-2 地区の概要

第2期見附地区(新潟県見附市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標：まちなかの魅力向上と地域交流の促進による中心市街地活性化。 目標1：既存施設・未利用地の有効活用によるまちなかの魅力向上と誘客促進。 目標2：まちなか活性化による地域交流の深化	交流施設利用者数	単位：人/年 601,320 H23	750,000 H28	795,931 H28
	市民アンケートの満足度	単位：% 55.0 H24	57.0 H28	56.7 H28
		単位： H	H	H
		単位： H	H	H
		単位： H	H	H



まちの課題の変化	市民ギャラリー、まちなか中核施設、街区公園を整備したことにより、幅広い市民の交流の場として活用され、交流施設やコミュニティバスの利用者数の増につながり、まちなかの活性化に一定の効果があった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・主たる基盤整備(ハード)は達成されたので、今後の効果の持続は活用方策(ソフト)の問題となる。賑わいの持続のためにソフト的な取り組みは、商店街やまちづくり市民団体等が主役となって推進し、市は必要に応じて連携しサポートする。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		指標2「市民アンケート満足度」において抽出する項目を「文化施設の整備状況や事業の展開」「生涯学習環境の充実」の2つとする	抽出する項目に「観光・レクリエーション施設の整備状況」「公園や緑地、広場などの整備状況」の2つを追加。	公園整備によりどれだけ住みよい地域が形成されたかを計測するため。
C. 目標値	●		指標2「市民アンケート満足度」について、従前値62.3%、目標値63.3%に設定	従前値55.0%、目標値57.0%に変更	「市民アンケートの満足度」の抽出する項目に「観光・レクリエーション施設の整備状況」「公園や緑地、広場などの整備状況」を追加したことにより、満足度の平均値が変化したため
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道本町1の3号線	-	-	13.8	道路拡幅L=75m	まちなか中核施設への安全で円滑な交通アクセスを確保するため追加	影響なし	●	
公園	学校町1丁目街区公園	-	-	9.1	公園整備A=980㎡	近隣住民や来街者の憩いの場を整備するため追加	指標2「市民アンケート満足度」の従前値及び目標値に影響する。市民アンケートの項目に、「公園や緑地、広場などの整備状況」があり、目標に関連する項目としてこれを追加し、4項目の平均値により満足度を算定する。	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業	市民ギャラリー	251.0	市民ギャラリー整備 A=1978㎡	276.5	市民ギャラリー整備 A=1978㎡	外構工事の追加、及び資材費高騰による事業費の増額	影響なし	●	
中心拠点誘導施設	まちなか中核施設	815.4	まちなか中核施設整備 A=1829㎡	1,195.7	まちなか中核施設整備 A=1802㎡	建築費高騰による事業費の増額	影響なし	●	
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度		基準 年度		基準 年度	目標 年度					あり	なし		
指標1	交流施設利用者数	人/年	-	-	601,320	H23	750,000	H28	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定 ●	795,931	事後評価	○			
指標2	市民アンケートの満足度	%	45.6	H18	55.0	H24	57.0	H28	モニタリング			モニタリング			● (隔年 実施の アン ケート のため、2 年以内 の達成 見込み	
									事後評価	確定 ●	56.7	事後評価	△			
									見込み							

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	○:各施設の整備により、まちなかの魅力が向上し、交流施設の利用者数の増につながった。	-
指標2	△:目標に関連する4項目のうち「文化施設の整備状況や事業の展開」「観光・レクリエーション施設の整備状況」「公園や緑地、広場などの整備状況」の3項目で満足度が上がっており、各事業の実施が一定の効果を現わした。「生涯学習環境の充実」の満足度が伸び悩んだものの、全体的には概ね目標値付近まで満足度を上げることができた。	-

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	数値(ウ)				
その他の 数値指標1	コミュニティバスの利用者 数	人/年	H28年度各月のコミュニティバス 利用者数から年間利用者数の 実績値を把握し、これを評価値 とする。	-	-	87,520	H23	モニタリング			地区整備に伴う効果としてコミュ ニティバスの利用者数の増加が 見られ、まちなかの魅力向上と 中心市街地の活性化(目標)を 表す指標としてふさわしいと考 えられる。
								事後評価	確定 ●	見込み	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・まちなか中核施設周辺で、7店の新規出店(H27~H29年度)があり、空き店舗対策に効果を発現している。
 ・市民ギャラリーでは、他施設と連携した事業(市展、書初展等)を実施することで、人々の回遊を促し賑わいと交流を生み出している。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
まちなか賑わい検討委員会	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】計7回 【実施時期】平成21～22年度 【実施結果】まちなか中核施設について、世代を超えた人々の交流のために必要な機能を具体的に提言することができた。	まちなか中核施設のオープン後の運営については、指定管理者と市民の主体的な活動となるが、市は必要に応じて連携しサポートする。
まちなか賑わいづくりワークショップ	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】計3回 【実施時期】平成21～22年度 【実施結果】まちなかの賑わいに必要な機能を話し合い、まちなか中核施設のアイデアを検討委員会に提案し、検討委員会におけるまちなか賑わい検討の材料の一つになった。	まちなか中核施設のオープン後の運営については、指定管理者と市民の主体的な活動となるが、市は必要に応じて連携しサポートする。
市民ギャラリー懇談会	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】計4回 【実施時期】平成25年度 【実施結果】市民ギャラリーの整備・運営について公募市民の意見を聞いたため、持続的なまちづくりの体制の組織化に発展した。	市民ギャラリーのオープン後の運営については、指定管理者と市民の主体的な活動となるが、市は必要に応じて連携しサポートする。

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
まちなか賑わいづくり懇談会	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● まちなか中核施設の運営については、指定管理者が行うが、本懇談会で市民の意見を積極的に取り入れて行く。	まちなか賑わいづくり懇談会: 民間の発想を積極的に取り入れ、まちなか賑わいづくりにおける公民連携の仕組みを強化する。	まちなか中核施設のオープン後の運営については、指定管理者と市民の主体的な活動となるが、市は必要に応じて連携しサポートする。
市民ギャラリー運営協議会	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 市民ギャラリーの運営については、指定管理者が行うが、本協議会で市民の意見を積極的に取り入れて行く。	市民ギャラリー運営協議会: 第三者の意見を聞くための協議会	市民ギャラリーのオープン後の運営については、指定管理者と市民ギャラリー運営協議会の主体的な活動となるが、市は必要に応じて連携しサポートする。

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価検討委員会	市役所関係各課課長補佐級職員(企画調整課、まちづくり課、地域経済課、建設課)	平成29年12月27日	建設課都市計画係(交付金主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	その他指標1		
指標名		交流施設利用者数	市民アンケートの満足度	コミュニティバスの利用者数		
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	
基幹事業	道路(市道本町1の3号線)	○	・道路事業により、まちなか中心施設へのアクセスが向上した。 ・市民ギャラリー、まちなか中核施設の整備により交流施設に行きたくなる環境が整備され、歩いて行ける拠点間での回遊が増えた。	-	公園、市民ギャラリー、まちなか中核施設の整備により、関連するアンケート項目(「文化施設の整備状況や事業の展開」「公園や緑地、広場などの整備状況」「観光・レクリエーション施設の整備状況」)の満足度が上がった。	
	公園(学校町1丁目街区公園)	-		◎		-
	既存建造物活用事業(市民ギャラリー)	◎		◎		◎
	中心拠点誘導施設(まちなか中核施設)	◎		◎		◎
提案事業						
関連事業	街路樹イルミネーション事業	○		○		
	健康ウォーキングロード登録事業	○		-	○	

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	実際に利用している市民の声を聞き、同種施設の先進事例を参考にしながら、施設利用者の満足度が更に向上するよう、施設の運営を行って、利用者の増加を図る。	整備した施設のサービス向上を図るとともに、施設を活用したイベント等を実施し、施設を利用する市民の満足度の向上を図る。	施設の利用者数の増加を目指すために、バス停上屋の設置やバスダイヤの見直し等を行い、コミュニティバスの更なる利便性向上を随時行っていく。
-------	--	--	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価検討委員会	市役所関係各課課長補佐級職員(企画調整課、まちづくり課、地域経済課、建設課)	平成29年12月27日	建設課都市計画係(交付金主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代の市民の交流と、さらなるまちなかの活性化 有効に活用されていない既存施設・未利用地の活用 	市民ギャラリー、まちなか中核施設、街区公園を整備したことにより、幅広い市民の交流の場として活用され、交流施設やコミュニティバスの利用者数の増につながり、まちなかの活性化に一定の効果があった。	地域と行政の協働の推進をより進める必要がある。	住民が主体となった公園の適切な維持管理

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	交流施設への誘導	誰もが、どのような手段でも訪れやすい、訪れたい仕組みをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用を促す効果的な情報発信 居心地の良くなる施設利用方法の検討・実施 施設間の回遊を高める案内表示や歩行空間の整備

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	地域と行政の推進	市の提案する協働事業の積極的な共催により、全市的な課題解決に向けた広い視野での事業展開を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 商店街と連携したイベントの展開 商店街、地域コミュニティ、市民団体と連携した賑わいづくり 地元芸術愛好家に着目した文化活動の底上げ ギャラリーでの市民参加の展示機会の増設
	公園の適切な維持管理	地域ぐるみの維持管理に対して支援を行い、地域への愛着を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民による公園の維持管理活動の支援

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・「ギャラリーの展示作品の解説者」及び「商店街への誘導を促すまちの解説者」の育成や情報発信が必要だと考える。
・市民の施設間の回遊を高めるため、コミュニティバスのダイヤ見直しが必要だと考える。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	交流施設利用者数	人/年	601,320	H23	750,000	H28	確定 ●	795,931	○	あり			
							見込み			なし			
指標2	市民アンケートの満足度	%	55.0	H24	57.0	H28	確定 ●	56.7	△	あり	H31.6月末	平成30年度に市が実施するまちづくり市民アンケートの内、アンケートの中で目標に関連する4項目の「満足」「やや満足」と回答した割合の平均値。目標に関連する項目は「文化施設の整備状況や事業の展開」「生涯学習環境の充実」「観光・レクリエーション施設の整備状況」「公園や緑地、広場などの整備状況」とする。	
							見込み			なし ●			
その他の数値指標1	コミュニティバスの利用者数	人/年	87520	H23	/	/	確定 ●	148,094	/	/			
							見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		目標の達成状況を評価するのにふさわしい指標の設定方法を検討する。
	うまく いかなかった点	市民アンケートの満足度を指標とし、満足度の平均を上昇させることができたが、「生涯学習環境の充実」の項目のみ満足度が伸び悩んだため、より関連性の高い項目を採用する必要があった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	ワークショップや懇談会を行ったことで、地域住民の事業への参加を促すことができた。	まちなかの魅力向上や地域交流の促進には住民参加が不可欠であるため、今後も継続し住民参加を促す。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

平成29年度に計画期間を終える、見附駅周辺地区都市再生整備計画について事後評価を予定している。見附駅周辺地区都市再生整備計画を実施するなかで判明した課題を解決するため第2期見附駅周辺地区都市再生整備計画の策定を企図している。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	H30.1.15～H30.1.29	H30.1.15～H30.1.29	メール、窓口備え付け の用紙	建設課都市計画係
広報掲載・回覧・個別配布	市広報にホームページで原案 を公表している旨を掲載	H29.12.22発行 広報見附1月号	H30.1.15～H30.1.29		
説明会・ワークショップ					
その他	窓口にて原案を縦覧	H30.1.15～H30.1.29	H30.1.15～H30.1.29		

住民の意見	意見なし。				
-------	-------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	渡邊誠介 長岡造形大学 建築・環境デザイン学科教授	平成30年2月1日	建設課都市計画係(交付金主管課)	都市再生整備計画評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	健康サポートクラブ副代表 見附商工会商業部会長 見附市美術協会役員				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	意見なし。
	成果の評価	意見なし。
	実施過程の評価	意見なし。
	効果発現要因の整理	意見なし。
	事後評価原案の公表の妥当性	意見なし。
	その他	意見なし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	意見なし。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて複数の施設を回遊するための案内看板の設置や案内マップの作成必要だと考える。 ・商店街、地域コミュニティ、市民団体と連携した賑わいづくりが必要だと考える。 ・「ギャラリーの展示作品の解説者」及び「商店街への誘導を促すまちの解説者」の育成や情報発信が必要だと考える。 ・ギャラリーでの市民参加の展示機会の増設が必要だと考える。
	フォローアップ	意見なし。
	その他	意見なし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	意見なし。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が事業実施後も意見を出し、まちづくりに参加できる場を継続して開催する必要がある。 ・市民の施設間の回遊を高めるため、コミュニティバスのダイヤ見直しが必要である。 	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。